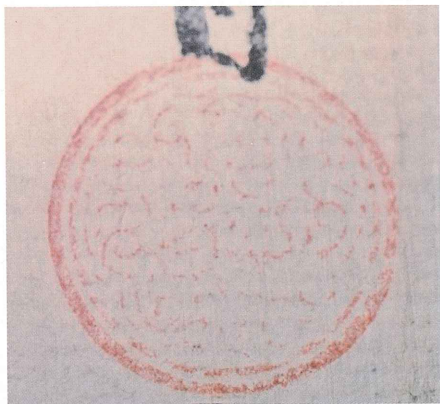
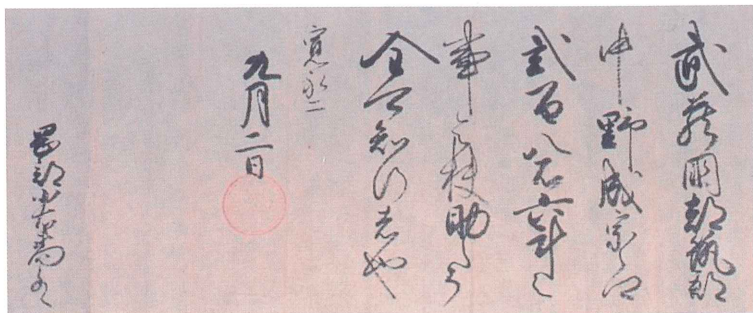


寛永二年秀忠朱印状



- 〔指定年月日〕 昭和五七年十一月一日
- 〔種別〕 有形文化財（古文書）
- 〔名称〕 寛永二年秀忠朱印状
- 〔点数〕 一通
- 〔所有者等〕 杉並区教育委員会
- 〔所在地等〕 大宮一―二〇―八（郷土博物館内）

寛永二年秀忠朱印状

この文書は、寛永二年（一六二五）九月二日付で、徳川秀忠が旗本岡部小右衛門吉正にあたえた旧成宗村の采地朱印状である。この朱印状によって成宗村の領主とされた岡部吉正は文禄二年（一五九三）以後に徳川家に仕官したといわれ、岡部氏は吉正以下四代にわたって元禄一年（一六九八）まで成宗村を知行している。歴代の墓は天桂寺にある（「岡部氏一族の墓」参照）。朱印状の文面は次のとおりである。

武蔵国都筑郡

中野成宗之郷

式百人石六斗之

事令扶助之了

全可知行者也

寛永二

九月二日（朱印）

岡部小右衛門とのへ

この朱印状は区内に現存する唯一のもので、岡部氏の子孫の方から教育委員会に寄贈されたものである。江戸時代初期の歴史を知る貴重な史料である。

【文化財所在地】

